

スキルス・ラボを活用した高校生医学体験学習の取り組み

福富 美紀・岩田 貴・長宗 雅美・石田 加寿子・辻 暁子・赤池 雅史
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部医療教育開発センター)

1. はじめに

徳島大学医療教育開発センターでは、高校側から「キャリア教育推進事業」～優秀な医師育成をめざして～の要望を受け、平成20年度よりスキルス・ラボにおいて徳島県内の高校生を対象に医学体験学習を実施している。平成21年度からは、医師確保対策の一環として徳島県医療政策課の主催としても実施され、さらに高大連携事業も含め、年3～4回開催に拡大している。当初は、医師の業務を模擬体験することによって、医学への関心を高め、医学部進学への熱意や意欲を喚起することを目的としていた。さらに現在では医療系全般に対して興味を抱いてもらい、徳島県から優れた医療人の育成を目指す取り組みに発展している。

5年間にわたる高校生医学体験学習の取り組みの効果について、参加生徒アンケートとその進路状況調査から検討し報告する。

2. 高校生医学体験学習の内容

医学体験は、聴診、縫合、採血、衛生的な手洗い、心肺蘇生の中から4～5つの実習を行い、医師または看護師が1名ずつ、心肺蘇生は、医歯薬ACLSサークルの5名の学生が指導者となる。それぞれの実習では、シミュレーターや実際の医療器具を用いて現実味や緊張感をもたせ、1項目の実習に15分～30分、心肺蘇生は約60分かけて実習する。



聴診実習



縫合実習



採血実習



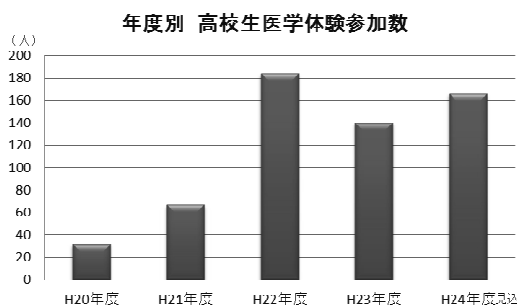
心肺蘇生実習



衛生的な手洗い実習

3. 参加状況

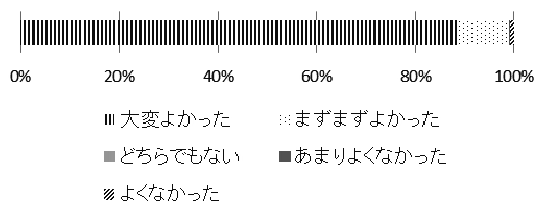
(平成20年～24年8月までに参加した高校は、徳島文理高校、徳島市立高校、徳島県立城東高校、徳島県立城ノ内高校、徳島県立城北高校、徳島県立城南高校、徳島県立徳島北高校、徳島県立富岡西高校、徳島県立富岡東高校、徳島県立鳴門高校、徳島県立脇町高校、徳島県立阿波高校、徳島県立池田高校(順不同)の合計13校である。



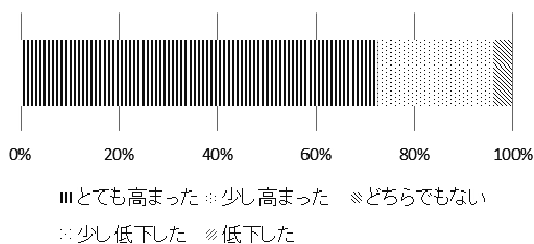
参加者合計 529 名

4. アンケート結果

医学体験学習に参加してどうでしたか



医学科進学への意欲は高まりましたか



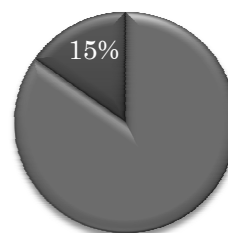
参加者の感想 (自由記載)

- ・医学の難しさ、人の体の複雑な構造、命の尊さなどを改めて実感した。
- ・心肺蘇生法はすごく自分のためになったと思う。
- ・医学部を希望するにあたって、大変よい経験ができました。とてもわかりやすく、楽しかったです。

- ・とてもおもしろいし、先生達も丁寧に教えてくれたのでとても楽しかったです。医学科に入りたいと思いました。
- ・医学に触れることができ、医学部に入って医者になるという意欲がとても高まりました。ありがとうございました。
- ・とてもいい経験になり、徳大の医学に来たいという意欲が高まりました。
- ・学生さんに教えてもらう時に、勉強のことなども教われて良かった。
- ・盛り沢山な内容で、とても充実していました。学生さん方の親身な教え方も、とてもありがたかったです。
- ・学生さんの話し方はわかりやすかったし、おもしろかった。

5. 高校生医学体験学習参加者の進路状況

(1) 高校を卒業した参加者(157名)における徳島大学医学科入学者



6. まとめ

スキルズ・ラボを活用したシミュレーション教育による医学体験学習は、将来医療系を目指す高校生のモチベーションを向上させ、そのキャリア形成支援となっている。徳島大学医学科入学者のアンケート調査や徳島大学医学科以外の医療系進学状況調査を加えて、さらに分析を行う予定である。